

“自治体”の防災図上訓練の準備時間を **生成AI** によって短縮！

状況付与カード作成システム

生成AI で、防災訓練を『もっと身近に、もっとリアルに』

メリット 1：訓練準備の工数が低減

状況付与カードの**検討、作成等**にかかっていた膨大な時間は**生成AIが代行**。



メリット 2：地域の特徴を反映

国土数値情報の公的データを参照し、実際の地名、避難所、道路、主要施設を反映した状況付与カードを生成。**具体的な被害想定**により、『その街ならではの困難』を再現。

メリット 3：様々な状況を想定

地震、津波、台風などの災害種別に対し、**人、建物、道路**といった多角的な被害状況を掛け合わせて想定。

予期せぬ被害パターンや、複合的な困難状況もAIが提案。

出力内容は自由に編集可能。

	人	建物	道路
地震			
津波			
台風			



メリット 4：ブラウザ上で動作するクラウドサービス

Webブラウザ上でログインして利用開始。

インターネット環境があれば、専用ソフトのインストールなしですぐにご利用いただけます。

本システムの一部は、

内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム

(SIP)第3期「スマート防災ネットワークの構築」JPJ012289

(研究推進法人：国立研究開発法人防災科学技術研究所) によって開発されました。

* 国立研究開発法人防災科学技術研究所と共同で特許出願中



出力結果例 (Excelブック)

◆ 状況付与カードの個票

- ✓ 状況付与カードの一覧表から、個票を自動で作成
- ✓ 印刷して、そのまま訓練で使用可能



状況付与カード			
区分-番号	3	付与方法	現地からの電話連絡と受付メモ
付与元	市民	想定時刻	2025-09-01 10:52
付与先	避難所支援班	付与時刻	
【付与内容】			
* ○二丁目の保健センター前で徒歩避難者が増え、情報不足による不安が広がっているため、避難所開設準備と案内掲示、要配慮者の受け入れ確認を進める。			
プレイヤー記入欄			
処理事項		連絡先	

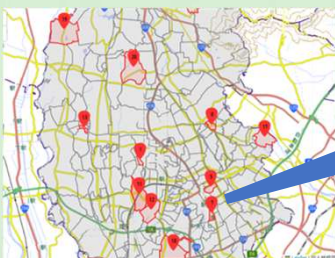
◆ 状況付与カードの一覧表

- ✓ Excel形式で出力され、訓練の全体像を容易に管理可能
- ✓ 付与時刻、付与元、付与手段、内容等を出力

訓練							
状況付与項目一覧表							
番号	時刻	項目(件名)	付与元	付与先	付与方法	付与内容	
1	2025-09-01 10:50	地震発生・初動対応	気象庁	情報班	緊急地震速報と災害情報メールの同報送信	* 一丁目の住宅地で地震動により家具生じ、△一丁目では木造住宅の外壁亀裂め、住民の安全確認と被害把握を開始す。	
2	2025-09-01 10:50	庁舎来庁者の負傷	市民	総務班	受付窓口からの口頭申告と館内放送	△一丁目の○△市役所第三別館で来庁が発生するとともに受付前へ帰宅困難者が庁舎内の安全確認と誘導体制を整える。	
3	2025-09-01 10:52	避難所開設準備	市民	避難所支援班	現地からの電話連絡と受付メモ	* ○二丁目の保健センター前で徒歩避難する不安が広がっているため、避難所開設準備の受け入れ確認を進める。	
4	2025-09-01 10:55	要配慮者の把握	消防	救護班	無線通報と現場口頭引継ぎ	□□一丁目の○*ヘルパーステーション△身動きできなくなっているため、安全確認と判断を行う。	
5	2025-09-01 10:58	物流施設の荷崩れ	市民	復旧班	施設管理者からの電話報告	○*の△センターで傾倒れと荷崩れが発生クが懸念されるため、現場確認と安全確保	

状況付与カードの地図上での可視化 (システム画面)

発生場所を地図上で可視化。「どこで何が起きているか」を視覚的に把握。



地図を拡大してプロットをクリック

※図の背景画像は、国土地理院地図を加工して使用

公的機関の情報を参照

境界情報

総務省
国勢調査小地域
集計



災害情報

防災科研(NIED)
確率論的地震動
予測



地物情報

国土交通省
国土数値情報



地図情報

国土交通省
国土地理院地図

